六甲山牧場

ヒツジのレース、楽しんで

六甲山牧場は暖かくなってきた季節にぴったりなイベントを企画している。中でも人気なのがシープレース＝**写真**。全６頭のヒツジたちがゴールを目指して真剣勝負する。

開催日は３月の土日祝。レースの行方はヒツジたちの気分次第。１着、２着を見事に的中させた人にはプレゼントがある。参加無料なのでぜひ挑戦を。

４月の土日祝には毎年恒例の人気企画「羊の毛刈りショー」を開催する予定。

そのほか、走る馬上から的を目がけて矢を射る流鏑馬（やぶさめ）や、目標のバケツに蹄鉄（ていてつ）を投げ入れる「大人のガチンコ蹄鉄投げ大会」など楽しいイベントが盛りだくさん。乳製品の手づくり体験も人気。詳細は六甲山牧場の公式ホームページ。

☎078・891・0280

六甲有馬ロープウェー・まやビューライン

春休みは子ども運賃無料

春休み、お得に六甲山、摩耶山へ出かけませんか―。「六甲有馬ロープウェー」と「まやビューラン（摩耶ロープウェー・摩耶ケーブル）」は24日から、子ども運賃を無料にする。４月６日まで。

対象は小学生以下（大人１人同伴につき４人まで）。有馬温泉と六甲山を結ぶ六甲有馬ロープウェーは、足元まで広がるガラス面から六甲山の雄大な景色を楽しめる＝**写真**。28度の急傾斜と深さ140㍍の湯槽谷（ゆぶねだに）上空はスリル満点だ。

摩耶山の麓（ふもと）と山上を結ぶケーブルカーとロープウェー「まやビューライン」は、ケーブルカーが今年100周年。20日の100周年号出発式を皮切りに記念イベントを随時開催する。

詳細は記念サイトで確認を。火曜定休。https://koberope.jp/

アスレチックパークGREENIA

遊び心満載、今季は22日から

日本最大級の屋外アスレチック施設「六甲山アスレチックパークGREENIA（グリーニア）」は22日、今季の営業を始める。陸上、空中、水上で計172のアスレチックを楽しめる＝**写真**。一部は人気動画クリエーター「フィッシャーズ」が監修、遊び心満載だ。

さらに４月19日からの体験型アートイベント「帰ってきたパワーワード展」アンバサダーに、乃木坂46の五百城茉央（神戸市出身）が就任！　昨年、六甲山上の展望台「自然体感展望台　六甲枝垂れ」で初開催された同展は、SNSで関連動画の総再生回数が1500万回を突破するなど反響があった。今年は新作アートも加わり、よりパワーアップ。アスレチックとアートの両方を楽しめる。

☎078・891・0366

六甲大学

ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第３月曜日に掲載します）

根岸真理が案内　山の四季便り

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

高山植物の奥深さ　ツアーで堪能

六甲高山植物園で人気

専門家がガイド、発見多く

スイスやヒマラヤ、日本アルプスなど、特殊な環境で生育する高山植物を栽培・育成している六甲高山植物園（神戸市灘区六甲山町）。他ではなかなかお目にかかれない希少な植物が手軽に観察できるとあって、花や緑が好きな人々に大人気の施設だ。寒さが厳しい冬季は閉園中だったが、15日から今シーズンの一般営業が始まった。

標高約800㍍、北海道の南部とほぼ同じ環境で、六甲山系では希少なブナの巨木も点在している。手入れが行き届いた園内を散策するだけでも十分楽しいのだが、見ごろの植物などについて、植物のプロフェッショナルが案内してくれるガイドツアーに参加すると、さらに奥深い世界に触れることができる。

毎月第２土曜日には、神戸薬科大学の薬用植物園で分類と栽培を担当していた薬用植物の専門家沖和行さんによる「沖先生のぶらぶら園内ガイド」、第３土曜日には東アジア野生植物研究会主宰者による「森和男先生の特別ガイド」が実施される。このほか５月24日、同31日の両日には、自然系映像音楽作家で写真家、植物研究家としての活動も注目されている、いがりまさし先生による特別ガイドも予定されている。

上沖和行さんによる園内ガイドツアーの様子
下３月上旬から下旬に咲くバイカオウレン＝いずれも神戸市灘区六甲山町、六甲高山植物園

植物について説明する沖和行さん

３月８日、冬季特別開園中に実施された沖先生のぶらぶらガイドに参加してみた。山上は前日に少し雪が降り、所々が白くなっている寒い日だったが、多くのファンが詰めかけ、沖先生の周囲はすごい熱気に包まれていた。

この日の参加者は60～70人程度。通常開園時には100人を超えることもあるとか。なかなかの大行列になっていたが、拡声器を使用されているので、離れていてもお話はきれいに聞こえていた。

園内をぶらぶら歩きながら、咲いている花はもちろんのこと、芽吹きを待っている冬芽（とうが）や落葉の役割についてなど、普通に歩いているだけでは気づかない、いろいろなお話を聞けて、とても楽しかった。

特別ガイドの実施日以外は、園内スタッフによる通常ガイドが毎日行われている。園内を知り尽くしたスタッフの案内は的確で、年間６、７回は訪れる筆者でも、聞いていると新たな発見がある。

講師による特別ガイド、通常ガイドともに午前11時、午後２時からの２回。参加費無料（入園料は別途必要）。予約不要。

文学部

◆ヴォーリズ・コテージ竣工記念企画「工芸の集積５人展」　４月５日～５月11日の土日祝、11～16時、ヴォーリズ六甲山荘敷地内（六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バスで約３分の停留所「記念碑台」下車）。ケーブルは４月12日まで運休予定、代替バスあり。同コテージ＝**イメージ図**＝には工芸品を展示・販売するクラフトセンターとカフェを併設。デザインに西田光男（鍛鉄）▽福嶋秀子（和紙）▽角倉起美（陶芸）▽坂本尚世（吉野檜灯り）▽DURT森本康代（ステンドグラス）―の作品を取り入れ、今回はその５人の展示会。入場無料。４月12日、同29日は貸切。詳細はホームページ。NPO法人アメニティ2000協会☎0798・65・4303

◆摩耶詣祭～摩耶山春山開き～　３月29日10時半～12時、摩耶山天上寺、掬星台（摩耶ロープウェー「星の駅」下車）。「摩耶詣祭（まやもうでさい）」が開催される。10時半から天上寺にて「御馬詣」（馬の厄を払い花かんざしを授ける儀式）＝**写真**＝など。その後、天上寺から掬星台まで飾り馬のパレード。11時から掬星台で山の安全祈願やだんじり囃子の演奏。摩耶昆布の配布や餅まき、土産・縁起物の即売のほか、限定200食で摩耶鍋の販売もある。無料。小雨決行、荒天中止。摩耶山観光文化協会（天上寺内）☎078・861・2684

健康学部

◆コバノミツバツツジの名所～逆瀬川上流を訪ねる～　４月12日９時半～14時半、宝塚西高校前バス停に集合。ゆずりは緑地―ゆずりはの森―ゆずりは緑地。上流にある「ゆずりはの森」ではコバノミツバツツジが見ごろ＝**写真**。東六甲の山並みや大阪平野を眺望できる。「ゆずりは緑地」では園内を散策し、砂防施設を見学、公園樹のユズリハなどを観察する。講師は六甲山自然案内人の会メンバー。弁当、飲料水、雨具など持参。ハイキングに適した装いで。参加費300円。予約不要。雨天中止。詳細は同会ホームページ

芸術学部

◆森の音ボタニカルフェア　３月15日～５月21日、10～17時（受付16時半）、ROKKO森の音ミュージアム（六甲ケーブル「六甲山上駅」から六甲山上バス「森の音ミュージアム」下車）。ケーブルは４月12日まで運休予定、代替バスあり。庭園に咲く季節の花々を鑑賞でき、毎週日曜には屋外コンサートも。ホールでは「演奏家のいないボタニカルコンサート」＝**写真**＝と題し、「さくら」や「バラ色の人生」など季節や植物にちなんだ曲を自動演奏。昭和、平成の懐かしい曲が流れる特集タイムもある。カフェでは期間限定メニューもある。中学生以上1500円、４歳～小学生750円。☎078・891・1284

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/